

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H28取組概要

代表校:東京農工大学 国内連携大学:茨城大学、首都大学東京

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

ASEAN発、環境に配慮した食料供給・技術革新・地域づくりを担う次世代人材養成

【プログラムの目的・養成する人材像】

農学・工学・食料科学などの分野における、開発と成長・自然と人間社会といった、アジア全体を取り巻く課題を解決する国際的な視野を持った人材

【構想の概要】

- ・ASEANの発展に貢献する人材育成コンソーシアムの構築
- ・三大学それぞれの特色を活かした、4つのコースの開設
- ・ASEANの歴史・文化、社会・経済を学ぶなど、ASEANへの理解を深める派遣プログラムの構築
- ・本プログラム終了後の大学院修士課程進学を促進する大学院ダブルディグリーコースの設置

■ 交流プログラムの質の保証

GPAの導入により、客観的な成績評価を実施しているほか、学内に単位相互認定審査委員会を設置し、厳格な成績管理の下、単位の実質化を図っている。

■ 交流プログラムの内容

ASEAN各国の大学との間で、単位取得を目的とした1セメスターの学部生交換留学を実施

ダブルディグリー・コースの構築

ボゴール農科大学【農工大】 茨大 ガジャマダ大学【茨大】

●1セメスターの留学の後は、ダブルディグリー・コースへの進学を促進。



協働教育による
学びのスパイラル

●受入学生のためのプログラムとして、各大学にコースを設置。英語による授業を開講。

【インドネシア】

ボゴール農科大学、ガジャマダ大学、スリヴィジャヤ大学、バンドン工科大学

【マレーシア】

マレーシア・プトラ大学、マレーシア工科大学

【タイ】

カセサート大学、チェンマイ大学、キングモンクット大学トンブリ校

【フィリピン】

フィリピン大学ディリマン校、フィリピン大学ディリマン校、デラサル大学、セントルイス大学

【ベトナム】

ベトナム国立農業大学

※下線部は、当初の計画以降に追加した大学

【ブルネイ】

ブルネイ・ダルサラーム大学

先端環境農学・食料技術コース【農工大】

環境志向技術革新工学コース【農工大】

地域サステナビリティ学コース【茨大】

観光地域づくりコース【首都大】

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H28までは実績、H29は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	12	14	3	0	0	0	11	12	9	0	0	0	13	10	14	0	4	0	15	20	12	1	4	2
学生の受入	0	0	0	0	0	0	12	16	7	0	0	0	20	11	9	0	0	4	20	12	12	0	10	0	15	20	12	1	4	2

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

○プログラムコーディネーターの配置による一貫した学生サポート (派遣・受入)

- ・履修登録や単位認定、査証取得などを手厚くサポート
- ・事前研修(語学、東南アジアの歴史・文化、特別授業など)から留学中の相談対応、事後学習まで、一貫した支援を実施

○バディ制度(AIMS学生と日本人学生の相互サポート)の構築 (派遣・受入)

- ・学生間の継続的なネットワークを構築し、留学後も交流の橋渡し役として活躍

○学部から大学院までのトータルな人材養成 (派遣・受入)

- ・インドネシアの大学との間で、ダブルディグリー・コースを設置。さらにAIMSプログラムで受け入れた学生が、農工大、茨大の修士課程に進学。



〈日本人学生と留学生の交流〉